

桐が谷通信

CHUBU GAKUIN UNIVERSITY
CHUBU GAKUIN COLLEGE

第51号 2014年12月10日

発行 中部学院大学 宗教委員会 〒501-3993
中部学院大学短期大学部 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL (0575) 24-2211

「2014年 クリスマスを迎えるにあたって」

笠井 恵二 (中部学院大学 宗教主事・教授)

私が中部学院に来てから7年目になります。その前に勤めていたのは、京都の学生数1万3千人のマンモス大学でしたので、それに比べてこじんまりとした本学にきて、学生さんひとりひとりと顔見知りになり、廊下ですれ違うときには「こんにちは」と挨拶してくれるので、とても和やかな気持ちになります。また、遠くのほうから手を振ってくれるひともあり、毎日、楽しくしています。そして山や森の自然をみぎひだりに眺め、季節の移り変わりを楽しみながらスクールバスで往復する時間も安らぎのときです。

中部学院は学校法人としては幼稚園、高校もふくめた岐阜済美学院という名称で、これは「美を為す、実行する」という意味と考えることができます。すなわち、この学院に集うすべてのひとが「美しく生きる」ということをモットーにして集ってきているのだということです。顔や姿の美しさだけでなく、生き方、ふるまいの美しさも大切にしたいと思うのであります。



とくに本学は、熱心な神道の信者であった片桐龍子先生が創設され、それを継いだ片桐孝先生が戦後、建学の精神をキリスト教に変えられた、というわが国でもまれな特別な歴史をもっています。



私はそこに深い意味を感じるのです。それにあたって龍子先生が「私の神様は日本の神様で、あなたの神様は世界の神様です」とおっしゃったことに、先生の深い宗教性を感じ、敬服しております。こういう意味で、キリスト教の信仰が根本にながれつつも、日本独自の宗教である神道や仏教などを尊重しつつ、教育と研究に邁進するというのが、本学の根本精神なのであります。いまは「アドベント」、すなわち全世界のひとびとを、そのメッセージにおいて救うイエス・キリストの誕生を待ち望む季節であります。この関と各務原の両キャンパスにおいて、地域と密接な関わりをもちつつ、さらに本学が発展していくことを確信しております。共に励んでいきたいと思えます。

7月22日には、グレース・ホールにて「ランチタイム・シアター」が開かれ、ダーリンブル・ゼミ（幼児教育学科2年生）の学生たちが、創世記の「アダムとエバ物語」を演じてくださいました。クリスマスには「聖誕劇」を披露してくれることと思えます。



年から年中、 クリスマス・ソング？

人間福祉学部 ハワード・ヒガ

そうですね、私たちは普通、クリスマス・ソングはクリスマスのシーズンだけにかけますよね。けれども、一年を通してクリスマス・ソングに関わるものもあるのです。

1) 最も有名なクリスマス・ソングの一つに「ザ・クリスマス・ソング」があります。1945年に二人の若い売れないシンガーソングライターによって書かれ、今日でもクリスマス・クラシックとして親しまれている曲です。伝えられているところでは、二人は真夏に、しかもうだるような日にこの歌を書いたそうです。余りにも暑かったので、暑さをしのごうと冬をイメージしながら書いたそうです。

二人は次のように歌い始めます。

暖炉では栗の実が焙られていて
霜男が君の鼻をつねって(寒さに鼻が冷たくなって)
聖歌隊が歌うクリスマス・キャロル
人びとはエスキモーのように重ね着してる

この曲は数十年の間に、多くの人たちによってカバーされてきました。二つ紹介します。マイケル・ブーブレ (<http://www.youtube.com/watch?v=nut0lgTdXn8&list=RDnut0lgTdXn8>) とシー & ヒム (<http://vimeo.com/34071666>) です。

2) アメリカの私の故郷では、人気ラジオ局が毎年6月25日、クリスマス・ソングを一日中かけます。人びとが局に電話して、「今日どうしてクリスマス・ソングをかけるのですか」と質問をすると、こう答えが返ってきます。「だって、今日でクリスマスまでちょうど半年ですから。それと、皆さんの中には統計から考えると、交通死亡事故で次のクリスマスと一緒にいられない人もいますから。」メッセージは明白です。「安全運

転しましょう。飲酒運転はぜったいにダメです。あなたにはクリスマスには必ず一緒にいてほしいから。」これは毎年行われる、とても効果的な社会キャンペーンと言えるでしょう。

3) 毎年クリスマス・シーズンには、地域や宗教界のリーダーが新年をクリスマスのところで迎えましょうと私たちに語りかけます。つまり、「地には平和、み心に適う人にあれ」(ルカ福音書2:14)を一年通してところに留め続けようということです。ジョン・レノンがこのことを彼の「ハッピー・クリスマス(戦争は終わった)」で明確にしようとした。

ジョン・レノンのカバーをセリーヌ・ディオンで。(<http://vimeo.com/18153067>)

その他、幾つかのクリスマス・ソングのプレイリストを：ジョシュ・グローバン「It Came Upon a Midnight Clear」(<http://vimeo.com/54399869>) マライア・キャリーの「All I Want for Christmas」の日本語カバーは<http://vimeo.com/33632211> で。コルビー・キャレイ「Christmas in the Sand」(<http://vimeo.com/63483271>) クラシックをビデオ・モンタージュと共に(<http://vimeo.com/55484406>) それから、Youtubeにはたくさんのクリスマス関連のプレイリストがあります。「Christmas songs」と入れて検索すると、すぐに色々な歌のリンクが出てきます。

クリスマスのところを一年中忘れないためにも、こうした曲を定期的にお聞きになるのもよいでしょう。たぶん、窓を閉めて車の中で聞くというのがベストではないでしょうか。また、「安全運転。飲酒運転はぜったいにダメ」を忘れないためにも。

皆さんの上に、メリー・クリスマス！そして、ハッピー・ニュー・イヤー！来る年が「ハッピー・クリスマス 戦争は終わった」に向かって、世界が一步を踏み出す年でありますように、共に希望を持って祈りましょう。

(翻訳：志村 真)

聖歌隊に参加して

人間福祉学部 1年 三谷 綺菜

私たち CCF (中部学院クリスチャン・フェロシップ) は聖歌隊として、チャペルの時間に賛美歌を歌っています。結成したのは今年の夏、笠井

先生のお声かけのもと、賛美歌を歌いたいというメンバーが集まりました。学生以外に職員の方も参加しています。

賛美歌はとても美しい曲だと、私は思います。合唱をして、それぞれのパートが重なり合ったと

桐が谷通信

き、綺麗なハーモニーが生まれ、歌いながら感動してしまうこともあります。なかなか感動できるような曲は歌うことは難しいですが...できたときの達成感と感動はとても大きいです。

次は12月18日のクリスマス礼拝に参加して、歌わせていただきます。ぜひ、私たちの歌を聴いてください。また、メンバーも募集しています。



聖歌隊のメンバーたち（学生・教職員混成）

ペルーのクリスマス

経営学部 3年 笠井 一

私はペルーとのハーフです。生まれてから日本の教育、日本の生活を送ってきました。日本のクリスマスは恋人と一緒に過ごすのが自分の中のイメージでした。高校1年の冬に親の都合によりペルーに帰る機会がありました。

ペルーのクリスマスは1年の中での大きなイベントとして祝されていました。ペルーは人口のほとんどがローマ・カトリック教などでキリストなど宗教にちなんだ祝日が多いのですが、クリスマスは祝日の中でも最も大切な祝日とされており、

イエス・キリストの誕生を祝う日として全ての人が祝すのです。そして日本とは違って家族や親戚全員が集結して一緒に過ごすのが一般的なペルーのクリスマスの過ごし方です。そして、もう一つの違いがクリスマスでの日本ではお店が賑わい、飲食店やら色々なお店が祝日に関係なく営業を行っているのに対して、ペルーではクリスマスは博物館や多くのお店が休業になることです。なので、皆さんペルー以外でもキリスト教が大半住んでいる国での祝日の観光する時は休業している事が多いので注意してください(笑)

ペルーで過ごしたクリスマスで一番印象的だった

「2014年度中部学院大学・中部学院大学短期大学部クリスマス献金」

Pray for the World!

今年も主イエス・キリストのご降誕をお祝いするクリスマスの季節がやってきました。クリスマスは、主イエス・キリストがご自身のすべてを人々の幸せのためにささげつくしたことから、私たち自身の一部を少しでも人々の幸せのためにささげ合うことを実践する季節です。今年の献金は東日本大震災の被災地を継続して覚え、そして昨年11月にフィリピンを襲った台風の被災地をはじめ世界各地と、岐阜・愛知の緒施設・活動のためにささげたいと思います。皆さん、暖かな思いをもってご献金ください。よろしく願いいたします。

募集期間：2014年12月1日(月)～12月25日(木)

献金予定先： 日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」および「いずみ」(東日本大震災被災地支援センター・放射能問題支援対策室)、 フィリピンの台風被災地のために(継続)、 野宿生活支援の会(岐阜)、 岐阜いのちの電話、 キリストへの時間、 愛知老人コミュニティ・センター、 (福)あゆみの家、 (福)新隣館、 ミンダナオ子ども図書館(フィリピン)、 アハリ・アラブ病院(ガザ地区)、 ジョセフ記念教育基金(スリランカ)ほか

関キャンパス総務課カウンター・各務原キャンパス事務室に設置していますクリスマス献金箱に献金ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

2014年度 クリスマス礼拝

「おめでとう、恵まれた方」

日本キリスト教団名張教会 牧師 小松 博士

日 時：**12月18日(木)** 11:00～12:20
(第2時限の講義は行いません。)
会 場：関キャンパス グレースホール



<メッセージ内容>

「おめでとう、恵まれた方」。クリスマスの物語はこの天使の言葉から始まります。天使ガブリエルが現れ、驚き戸惑うマリアに男の子を身ごもったことを伝える。よく知られている場面です。

しかしながら、なぜ天使は「おめでとう」と言うのでしょうか。なぜマリアは「恵まれた方」と呼ばれるのでしょうか。当時、未婚の女性が子どもを身ごもることは決して許されないことでありました。最悪の場合、死を覚悟しなければなりません。そればかりではなく、聖書には、その後のマリアが救い主の母としてどれほど苦悩に満ちた人生を歩んだかが描かれています。そのようなマリアが「おめでとう、恵まれた方」と言われる。それは一体どうしてなのでしょう。

天使はこのように続けます。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられます」。「主があなたと共におられる」。だから天使はマリアに「おめでとう、恵まれた方」と言うのです。ここに、私たちが目を留めるべき大切なことがあります。私たちにとって本当に大事なことは、「主と共におられること」なのです。

私たちが生きるうえで、苦しいことや悲しいこと、辛い経験をすることがあります。マリアのように、ある日突然、激しい大波に吞まれるようなこともあるかもしれません。私自身、そのような経験をいたしました。私は皆さんと同じ頃、自分が実の母親に捨てられたということ、そして実の父親も誰だか分からないということを知りました。心が空っぽになったように感じました。しかし神様は、多くの人の支えと聖書の言葉を通して、「主と共におられる」ということに気付かせてくださいました。

このクリスマスの時、ぜひ皆さんに知っていただきたいことは、「主があなたと共におられる」ということです。神様が共にいてくださるとき、人はどのような中であっても「恵まれた者」として歩むことができるのです。

<講師プロフィール>

小松 博士 (こまつ・ひろし) 2010年東京神学大学卒業。日本キリスト教団名張教会牧師。中部教区教育部青年活動担当委員。1985年生、29歳。

(前のページから続く)

たのがペルー料理です。家族や親戚が集まって過ごすクリスマスなので、料理がとてつもなく多かったです。日本と比べると物価が安いので、安くてもおいしい料理が堪能できました。

このクリスマスを期に日本でも私の家族は毎年クリスマスは家族で過ごすようになりました。

